

# 2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

---

*1Q Financial Results for the Fiscal Year Ending March 31, 2027*

# 目次

## 01 Executive Summary

---

## 02 3つの成長ドライバー

---

## 03 2027年3月期 1Q決算ハイライト

---

## 04 2027年3月期 通期業績予想

---

## 05 事業進捗ハイライト

---

# 2027年3月期 1Q – 黒字化への第一歩、準備、体制作り

リハートの保険収載・薬価決定を経て売上発生が9月に。  
通期の上方修正を発表したが、再度の上方修正に挑戦中。（移植件数のスピードアップ、その他案件の獲得）



**薬価 53.2百万円**

**リハート保険収載を決定**

中医協でC2区分の保険償還価格が了承。9～10月に第一例移植を予定し、黒字化への第一歩を踏み出す。



**+820百万円**

**通期業績予想を上方修正**

経常損失予想を5/15公表の△1,400百万円から△580百万円へ上方修正(7/28公表)。



**3つの技術的証明**

**技術力を国内外で証明**

カテーテル小動物PoC確立、AHA技術アワード最高評価受賞、大量培養技術(パイロットプラント竣工)を達成。



**キャッシュバーン  
レートの減速**

**持続可能な財務基盤**

現金預金等33.2億円を維持。設備投資は経産省再生CDMO補助金で投資額の2/3を補填。

# 02

## 3つの成長ドライバー

## 3つの成長ドライバーで、収益力と拡張性を両立する



①

### 黒字化への大きな大一步

強力に推進し、収益力の向上を目指す

- 薬価決定(53.2百万円)・9月以降の移植開始
- 国内患者リクルート加速、海外病院等との提携
- 生産体制の強化・販管費等のコスト削減



②

### 次なる成長ドライバー製品開発の加速

製品の多角化により、安定した収益基盤を確立

- 朝日インテックとの共同開発(心筋オルガノイドの研究を加速)
- YSシリーズ(肝臓等)で医師主導治験準備を推進、海外へのライセンスアウト模索
- 海外iPS心筋シート(スタンフォード大学と共同研究)



③

### 大量培養技術の確立

来るべき細胞治療の需要拡大への対応

- 再生CDMO補助金を活用しパイロットプラント竣工
- 大量培養技術の研究開発を推進
- 将来の大量細胞製造CDMO事業の基盤を構築

# 03

## 2027年3月期 1Q決算ハイライト

連結PL・BSのポイントと特記事項

# 連結PL実績

(単位：百万円)

|                         | 2026/3期 | 2027/3期 | 増減額  | 内容                          |
|-------------------------|---------|---------|------|-----------------------------|
|                         | 1Q      | 1Q      |      |                             |
| 売上高                     | 85      | 1       | △83  | CDMO事業 売上減                  |
| 売上原価                    | 54      | 0       | △54  | 同上                          |
| 売上総利益                   | 30      | 1       | △29  |                             |
| 販売費及び一般管理費 ③+④          | 227     | 334     | +107 |                             |
| 販管費内訳                   |         |         |      |                             |
| 研究開発費（総額）①              | 235     | 210     | △24  | リハート承認による減少                 |
| 共同研究開発費受入額 ②            | △130    | △ 2     | +128 | リハート承認により共同研究契約終了による減少      |
| 研究開発費 ③ (=①+②)          | 104     | 208     | +103 |                             |
| その他販管費 ④                | 122     | 125     | +3   |                             |
| 営業損失 (△)                | △196    | △333    | △136 |                             |
| 営業外収益                   | 2       | 11      | +9   | (当期)為替差益 6、有価証券運用益 2、受取利息 2 |
| 営業外費用                   | 5       | 0       | △5   | (前期)有価証券運用損 4               |
| 経常損失 (△)                | △199    | △321    | △121 |                             |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純損失 (△) | △200    | △317    | △117 |                             |

# 連結BS実績－潤沢なキャッシュポジションを維持

(単位：百万円)

|               | 2026/3期 |        | 2027/3期 |        | 増減額  | 内容                                |
|---------------|---------|--------|---------|--------|------|-----------------------------------|
|               | 期末      | 割合※2   | 1Q      | 割合※2   |      |                                   |
| 資産            |         |        |         |        |      |                                   |
| 流動資産          | 4,420   | 86.3%  | 3,947   | 82.0%  | △472 | 現金預金等△577、棚卸資産+117(リハート用心筋細胞)     |
| 固定資産          | 702     | 13.7%  | 863     | 18.0%  | +161 | 有形固定資産+171(主にパイロットスケールプラントの設置)    |
| 資産合計          | 5,123   | 100.0% | 4,811   | 100.0% | △311 |                                   |
| 負債/純資産        |         |        |         |        |      |                                   |
| 流動負債          | 277     | 5.4%   | 242     | 5.0%   | △34  | 未払金 △41(主にパイロットスケールプラントに係る未払金の支出) |
| 固定負債          | 76      | 1.5%   | 111     | 2.3%   | +35  |                                   |
| 純資産           | 4,769   | 93.1%  | 4,457   | 92.6%  | △312 | 親会社株主に帰属する四半期純損失 △317             |
| 負債純資産合計       | 5,123   | 100.0% | 4,811   | 100.0% | △311 |                                   |
| (参考) 現金預金等 ※1 | 3,900   | 76.1%  | 3,323   | 69.1%  | △577 |                                   |
| (参考) 自己資本     | 4,690   | 91.6%  | 4,385   | 91.1%  | △305 |                                   |

※1 現金預金等は、連結貸借対照表の「現金及び預金」と「有価証券」の合計額

※2 資産合計に占める割合。小数点以下第二位四捨五入

# 04

## 2027年3月期 連結業績予想

(2026年7月28日公表)

## 5/15予想からの上方修正－リハート保険収載を受けた結果

(単位：百万円)

| 項目                 | 5/15予想 | 7/28予想 | 増減   |
|--------------------|--------|--------|------|
| 売上高                | 非開示    | 540    | —    |
| 営業損失（△）            | △1,430 | △1,030 | +400 |
| 経常損失（△）            | △1,400 | △580   | +820 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失（△） | △1,390 | △570   | +820 |

- 中医協総会でリハートの保険償還価格が了承され、売上高予想を開示。売上高・売上原価を織り込み、業績予想を上方修正。
- 業績を上方修正する可能性のある案件について、現在、先方と交渉中。

# 前期実績との比較－増収・赤字幅縮小を見込む

(単位：百万円)

| 項目                 | 26/3期実績 | 27/3期予想 | 増減   |
|--------------------|---------|---------|------|
| 売上高                | 212     | 540     | +328 |
| 営業損失（△）            | △1,081  | △1,030  | +51  |
| 経常損失（△）            | △1,028  | △580    | +448 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失（△） | △1,022  | △570    | +452 |

## 上方修正の主な要因

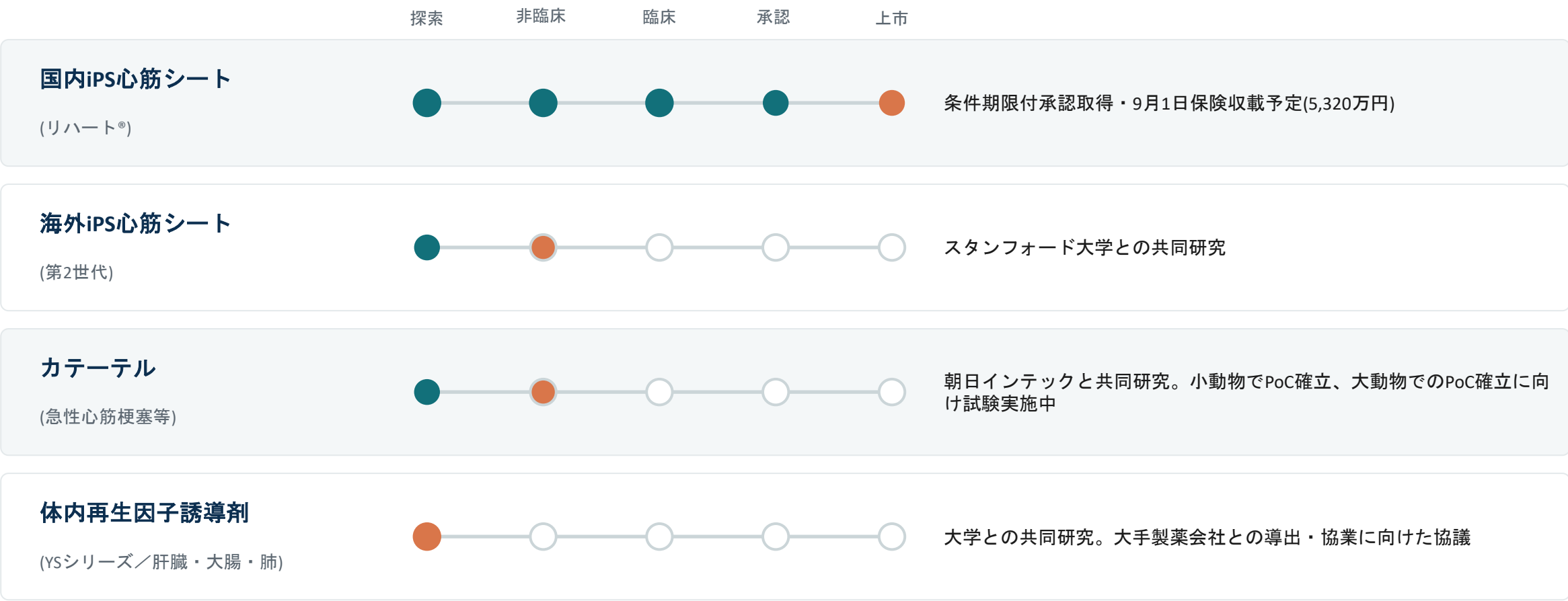
- リハートの国内販売開始による売上高の増加
- リハートの条件・期限付き製造販売承認取得に伴う研究開発費の減少
- 共同研究契約終了に伴う共同研究開発費受入額の減少
- 再生CDMO補助金を受領見込み

# 05

## 事業進捗ハイライト

技術力の証明 — パイプライン・受賞・大量培養技術

# 主な事業の進捗一覧 – 5つの事業が着実に前進



CDMO事業ではコンサルティング契約を締結・実行。業績を上方修正する可能性のある案件について、現在も先方と交渉中。

# リハート® – 保険収載決定で国内展開が本格始動



## 保険償還価格の概要

|          |              |
|----------|--------------|
| 販売名      | リハート®        |
| 決定区分     | C2（新機能・新技術）  |
| 保険償還価格   | 53,200,000円  |
| 類似機能区分   | 原価計算方式       |
| 市場性加算(I) | 10%（加算係数1.0） |

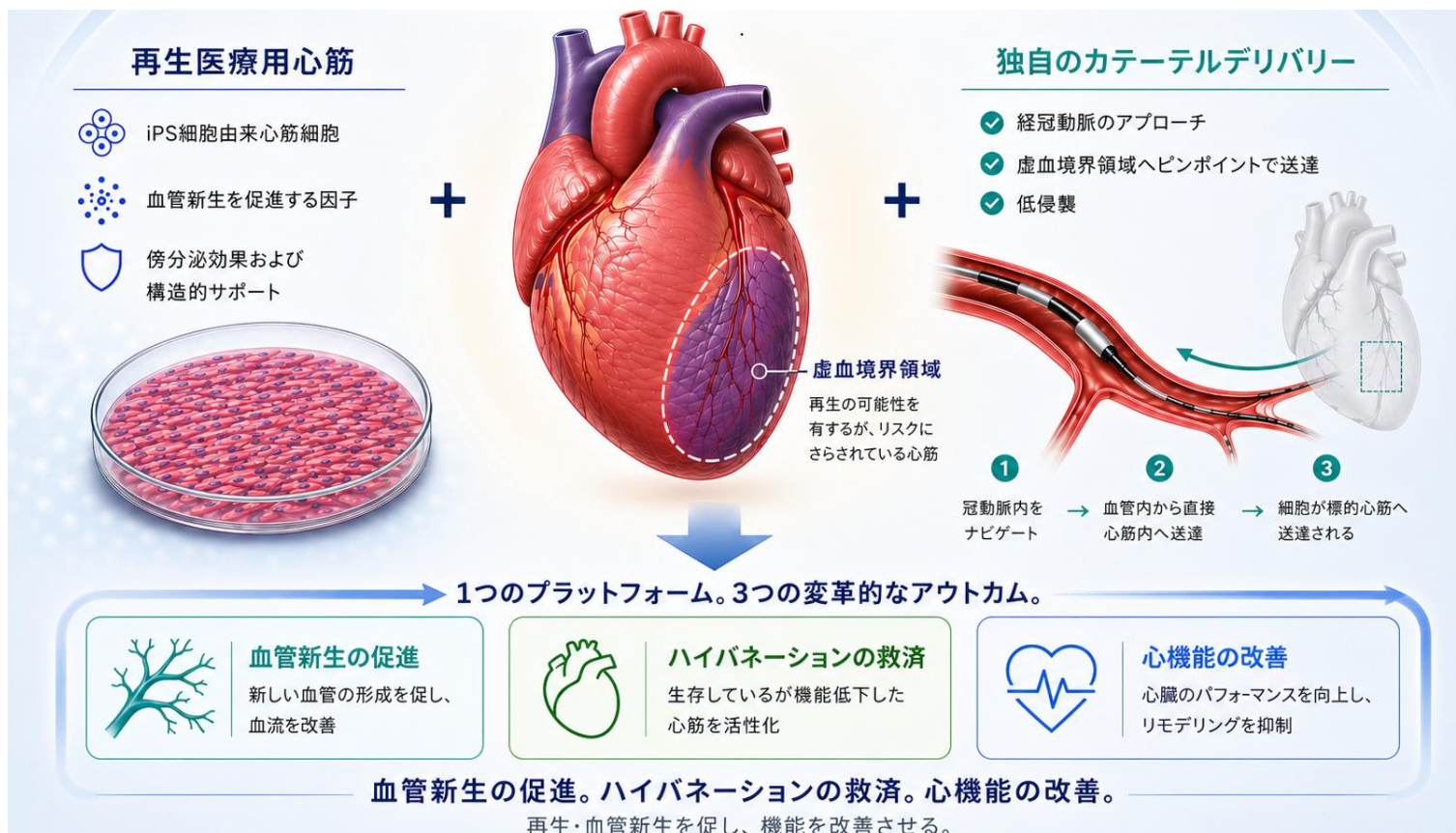
主な使用目的：薬物治療や侵襲的治療を含む標準治療で効果不十分な虚血性心筋症による重症心不全の治療

## 国内展開ロードマップ

- 2026年3月**  
条件及び期限付承認を取得（世界初のiPS細胞由来再生医療等製品）
- 2026年7月**  
中医協総会で保険収載（保険償還価格）が了承
- 2026年9～10月**  
医療機関にて2例の移植を予定
- 以降**  
複数施設に順次拡大し、移植の積み上げを実施

医療機関への技術指導・製品内容の説明等を実施し、患者登録準備を推進中。3年以内に75例以上の市販後データを収集し、本承認申請を目指す。

# 開発品：カテーテル－大動物PoC取得を目指し、全世界展開を加速



想定マーケット規模（国内）

**30,000件/年**

急性心筋梗塞等の年間治療対象件数

**3,000件/年**

治療対象者の10%と仮定した潜在需要

心筋シートは基本的に患者1人あたり1回の手術を想定するが、カテーテル治療は複数回投与の可能性があり、リピーター需要も見込まれる。

## 【トピックス】

- ・ 小動物PoCを確立
- ・ 移植用カテーテル開発が完了
- ・ PMDA事前相談を実施



## 技術アワード受賞

### AHA BCVS 2026 (Boston) 最高評価受賞

日本から応募された研究内容の中から、最高評価を受賞

#### 小動物実験によるPoC実証

パラクライン効果による血管新生・心機能改善効果を実証した小動物実験の結果を発表。

#### 大動物での実装試験

経カテーテル的オルガノイド移植の大型動物での実装試験結果を発表。



国際学会でのデータ発信を通じ、グローバルでの技術的信認と認知拡大を実現。

# 大量培養技術の確立－次世代CDMO事業の基盤構築

経済産業省「再生CDMO補助金」の支援を受け、Nakanoshima Qrossにパイロットスケールプラントの設置が完了



VMaCS グループ2社を含む16社が参加 (2026年6月末現在)

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

## 【現状と今後の予定】

- VMaCSにおいて各自動化装置の開発が進展し、開発成果であるパイロット機のパイロットスケールプラントへの設置を順次進めている
- 2026年7月より、同施設においてプロセス開発事業を開始予定 (リハートの大量製造プロセス開発から)
- 並行してVMaCS各社と大量細胞製造自動化プロセスの最適化を進め、将来の新規大量細胞製造施設を設置した大量製造CDMO事業につなげる予定

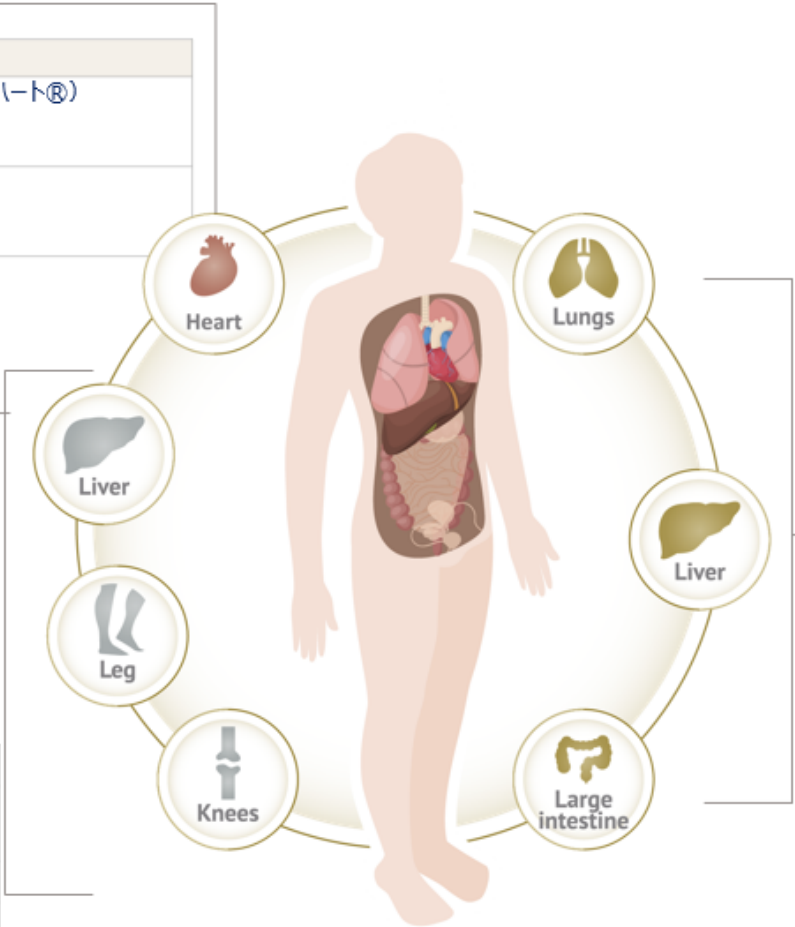
# 体内再生因子誘導剤の研究開発状況

## iPS細胞由来心筋細胞

| 心臓                  |                                           |
|---------------------|-------------------------------------------|
| 虚血性心筋症              | 心筋細胞シート（販売名：リハート®）<br>（共同研究）<br>スタンフォード大学 |
| 虚血性心疾患<br>（急性心筋梗塞等） | カテーテル ※<br>（共同研究）<br>朝日インテック株式会社          |

## iPS細胞由来MSC ※

| 肝臓      |                     |
|---------|---------------------|
| 肝硬変     | （共同研究）<br>大阪大学消化器外科 |
| 脚       |                     |
| 重症下肢虚血  | （共同研究）<br>協議中       |
| 膝       |                     |
| 変形性膝関節症 | （共同研究）<br>協議中       |



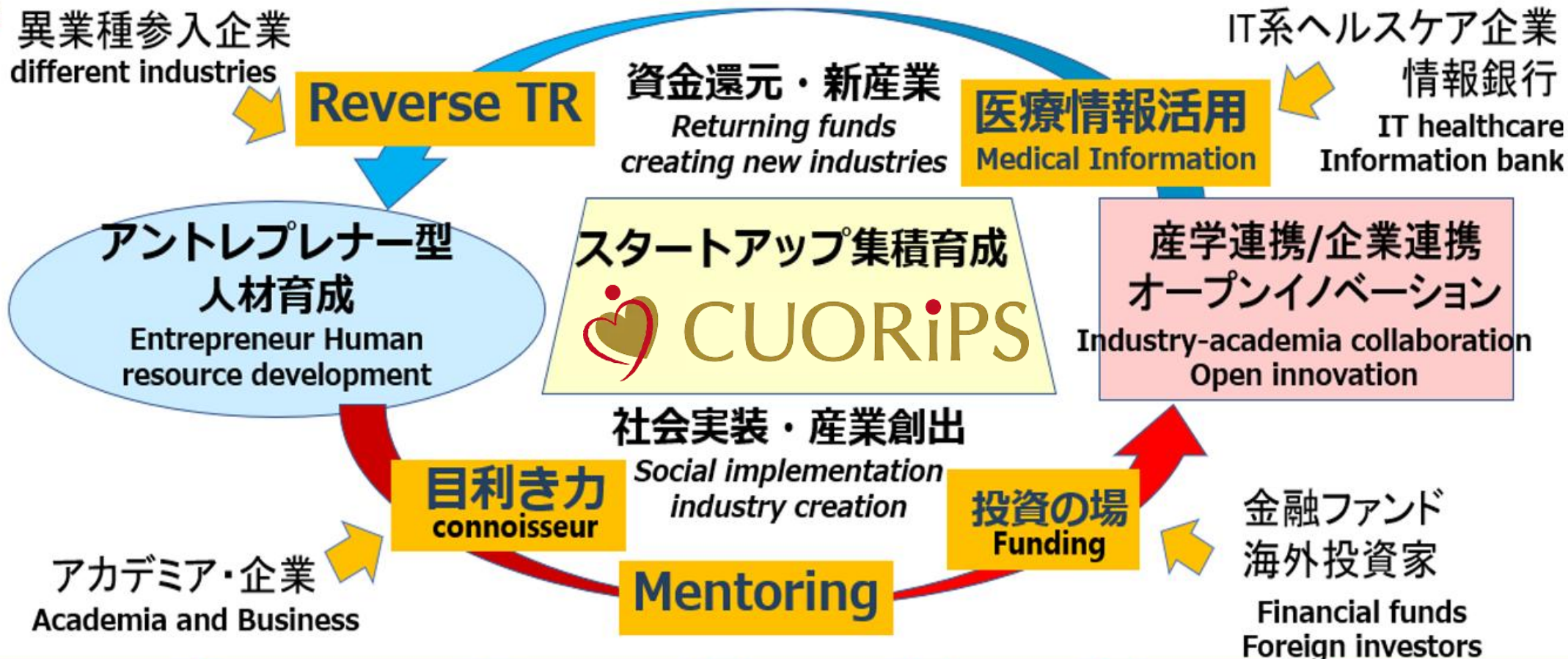
## 慢性閉塞性肺疾患肺高血圧症

- 動物モデルを用いた薬効評価や作用機序の解析、ならびに臨床試験に向けた検討を進め、新規パイプラインの確立と知財の獲得を目指す

## 再生医療創薬 （体内再生因子誘導剤） ※ IPアゴニスト

| 肝臓                 |                                          |
|--------------------|------------------------------------------|
| 非アルコール性脂肪肝炎<br>肝硬変 | （共同研究）<br>新潟大学<br>大阪大学消化器外科<br>大阪大学消化器内科 |
| 大腸                 |                                          |
| 腸疾患                | （共同研究）<br>大阪大学消化器内科                      |
| 肺                  |                                          |
| 慢性閉塞性肺疾患<br>肺高血圧症  | （共同研究）<br>大阪大学消化器内科                      |

# 未来医療スタートアップエコシステム ～大阪モデル～



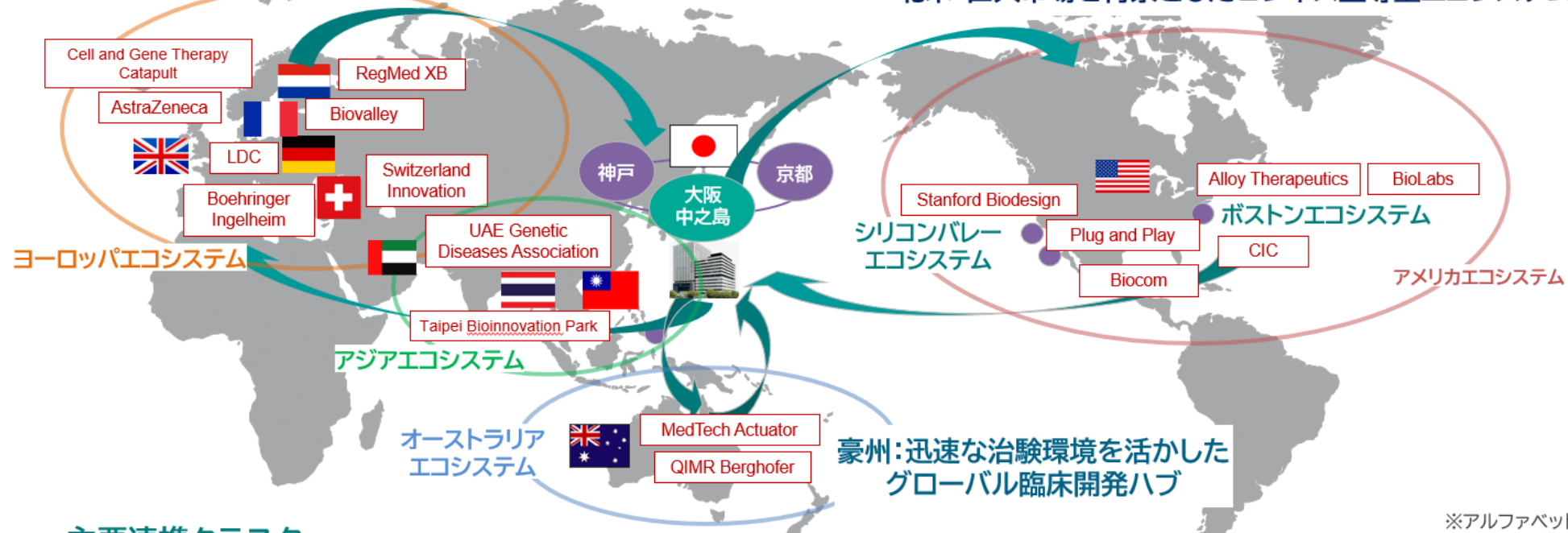
# グローバル展開 – 各国政府・医療機関との交渉を推進

## Nakanoshima Qrossのグローバルネットワーク



欧州：政府・国家戦略による国際連携型イノベーション政策

北米：巨大市場を背景としたビジネス主導型エコシステム



## SECTION 5



共同研究

米国

スタンフォード大学との共同研究(海外向け心筋シート  
第2世代)



交渉中

オーストラリア

ANZ企業と導入計画を交渉中



交渉中

インドネシア

厚生労働大臣と面談し、交渉を継続



検討中

シンガポール・中国・欧州等

今後の提携可能性を検討中



交渉中

UAE・中東諸国

各役員主導で交渉中



実施中

国内(万博レガシー)

8月21～23日開催の万博レガシーイベントへ心筋シート  
を提供



万博レガシーイベント  
**Resona**  
**EXPO Re:Future**

2026  
**8.21金-23日** 大阪南港  
**ATCホール**  
10:00-18:00 (最終日は17:30まで) 2部制 大阪市住之江区南港北2-1-10



詳しくはこちら  
[共催] 公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会、公益社団法人 関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人 関西経済同友会  
[後援] 大阪府、大阪市  
[協力] 公益財団法人 大阪産業局、リそなグループ

**りそな銀行**  
RESONA

2024年4月30日 現在

## ご質問への回答

投資家の皆様から頂いた事前質問は、決算説明動画の中で回答いたします。

決算説明動画は、2026年8月13日に当社ホームページにて配信予定です。

# ディスクレーマー

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、将来の事象や動向に関する当該記述を作成した時点における仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。さらに、こうした記述は将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は、当社グループに関する情報の開示のみを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の有価証券への投資判断は、ご自身の判断で行うようお願い致します。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社グループに関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。
- 本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社グループは何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。